

小学校の学びにつなぐ保育実践講座

「見守る保育」から保育者が積極的に遊びと学びに参加する「プロジェクト保育」

講座の大きなテーマ

費用：30,000円

やがて子どもたちが小学校で学ぶアクティブ・ラーニングの
日曜 連続講座 全3回 (連続受講のみ) 「芽」を育てるプロジェクトの教え方

21世紀、日本の教育改革が始まろうとしています。教科の枠を越えて学校教育の重点を「何を教えるか」から「何ができるようになるか」に、日本の教育を転換するアクティブ・ラーニング（プロジェクト）が文部科学省で検討されています。

テスト直前になって必死に覚えるといった勉強の仕方は、大学入試改革と相まって、大きな転換を迫られ、「我が国の教育全体の大改革につながる」（下村文科相の諮問理由を代読した丹羽秀樹副大臣）とはっきりと明言されています。

文部科学省が就学前教育（認定こども園）に求めるのは、アクティブ・ラーニングの「芽」を育てる、いわゆる子ども自ら遊び自ら学ぶ態度を養う保育方法です。オランダ Cito（旧オランダ王立教育評価機構）が開発したピラミデー（アクティブ・ラーニング）は、教育のエビデンス（理論的根拠と評価）を求める21世紀の教育法と評価を得ています。

講師：辻井 正（つじい ただし）臨床経験歴



・関西学院大学文学部大学院修了 ・ドイツ障害者の町「ベテル」にて、てんかん性発作のある少年の家（カベルナウム）看護助手として勤務。勤務の傍らに看護コース（夜間部）にて行動療法の訓練を受ける。（1年6ヶ月）その後、ドイツケルン大学Vojta（ボイタ）法訓練コースを修了。 ・帰国後、大阪大手前肢体不自由児施設にて病棟勤務指導員として（4年間）・知的障害児通施設「生野子どもの家」園長代理として勤務（5年間）・これまでの経験を生かして、当時多くの保護者が求めていた乳幼児障害児のための、日本で初めての「おもちゃライブラリー」を大阪に開設する。（7年間）・現在 アサヒベビー相談（朝日新聞社厚生文化事業団）カウンセラー（12年間）・NPO法人国際臨床保育研究所 所長



① 11/29 (日)

①理論 【10:30-12:00】

アクティブ・ラーニング(プロジェクト)とはどのような教え方か? ~豊富な実践的なビデオを見ながら視覚的に理解できる内容です~

先生が子どもと対面式に伝達する一斉保育では、子どもが記憶し学ぶ範囲は限られています。子どもは保育者の積極的な支援で、自ら環境との相互関係から遊びと学びを身につけます。グローバル化(世界の動きが複合化し変化する)時代に必要な生きる力を学ぶ保育方法を理論に沿って講義します。

②保育実践 【13:30-15:30】

アクティブ・ラーニング(プロジェクト)を展開するための保育環境のデザイン制作と遊びのセンター展開
子どもが自ら遊び学ぶためには魅力ある保育環境が必要です。質の高い保育とは、子どものニーズ(求めること)に合わすことだられるように、発達領域との関係で遊びのセンターが用意されていることで、子どもは遊び始めます。実践的に保育環境をデザインするワークショップを行います。

③保育実践 【15:30-16:30】

見守る指導ではなくて、積極的に遊びの展開に参加し、子どもの遊びを継続させる保育の展開法
コーナー保育を数年続けていくと必ず壁にぶち当たります。コーナーで子どもは活発に遊んでいますが、同じ内容の遊びであり、同じ場面と同じ役割の繰り返しです。保育者が積極的に遊びに参加し、遊びの内容と遊びの状況に変化を与えることが必要です。

② 12/13 (日)

①理論 【10:30-12:00】

子どもが保育者の話に耳を傾ける

サークルタイム論と進め方

子どもへ質問の仕方や今日の遊びを具体的に説明する方法次第でその日の保育が決まります。一人ひとりの顔を見ながら問いかけ、うなずきながら展開するサークルタイムの展開法を学んで頂きます。(オランダとドイツのサークルタイムのビデオを見ながら学びます。)

②保育実践 【13:30-15:30】

大きなグループから

小さなグループに分かれて遊ぶ展開

全員に説明するサークルタイムが終われば、子どもたちは遊びと学びが準備されたセンターに分かれて遊びます。小さなグループで異なった遊びをしています。それらのグループ間を保育者は同じルートで歩きながら、一人ひとりが手ごたえをもって理解するように支援します。

③保育実践 【15:30-16:30】

言語活動を豊かに刺激する相互関係による絵本の読み聞かせ(インターアクティブリーディング法)

絵本は心の道具といわれるように保育活動に欠かせません。保育者が身振りや声の音色を変えることなく、淡々と文字を読んでいる読み聞かせから、積極的に子どもを鼓舞し身振りや声の音色に変化を与えながら読み聞かせを進めるテクニックを練習します。(オランダの保育方法をビデオから学びます。「がんばれカエルくん」の絵本を使います)

③ 1/17 (日)

①理論 【10:30-12:00】

テーマ「三匹のくまさん」から、さんすうの概念を学ぶアクティブ・ラーニング理論と展開方法(米国版アクティブ・ラーニング)

体系化されたカリキュラムの教え方をワークショップ形式で学びます。

- ①子どもを引きつけテーマにのめり込ませる説明をします
- ②具体的に体験させてテーマの概念を理解します
- ③テーマを多角的に見る理解を教えます
- ④具体的な現実から始まったテーマを言語化(抽象化)の理解に導きます

②保育実践 【13:30-15:00】

子どもの独自性を評価するポートフォリオ
アクティブ・ラーニングはエビデンス(理論的根拠と評価)が求められる保育です。これまでの発達段階的な評価から、子どもの独自性を評価するポートフォリオ評価法の理論と評価方法のやり方を学びます。
(同じ子どもが描いた絵で、数ヶ月の時間差のあるのを2枚持参してください。)

06-6773-3008

^ FAX をお送りください

※3ヶ月間同一の方の参加をお願いいたします

お名前：

ご住所：

電話番号：

携帯：